

6. 学術情報センター

学術情報センター長 兼平 千裕 (放射線医学) (平成19年4月より)
同 図書館国領分館長 茅島 江子 (母性看護学) (平成22年4月より)

1) 平成22年度統計 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(1) 図書館

① 蔵書冊数	252,819冊
② 現在受入雑誌数	1,003種 (和789種、洋214種)
③ 電子ジャーナル提供数	約4,800種
④ 館外貸出冊数	11,215冊
⑤ 他学との文献相互貸借数	貸出4,660件 借受4,026件
⑥ 複写サービス	1,370,304枚
⑦ 情報検索サービス	79,493件 (代行とセルフサービスの合計)

(2) 国領分館

① 蔵書冊数	81,041冊
② 現在受入雑誌数	375種 (和322種、洋53種)
③ 館外貸出冊数	8,509冊 (視聴覚資料含む)

(3) 標本館

① 標本数	マクロ標本	1,630点
	顕微鏡標本	2,549点
② 視聴覚資料	ビデオ・プログラム	1,768セット
	スライド・プログラム	601セット
	16mmフィルム	37セット
	コンピュータ・ソフトウェア	52セット
	語学プログラム	204セット
	その他	79セット

(4) 史料室

見学者数 226名 (学内20名、学外206名)

(5) 写真室

① 撮影・スライド制作サービス	42件 (1,838枚)
② レントゲンフィルム複製サービス	258件 (2,104枚)
③ ビデオ編集サービス	52件 (265時間)
④ カラープリント出力サービス	191件 (2,858枚)
⑤ 35mmスライド入力サービス	27件 (1,514枚)

2) 主な事項

(1) 医学部学生演習

医学科1年生と2年生を対象にした基礎的な情報検索演習 (医学総論) と、医学科3年生と4年生の「医療情報・EBMコース」の情報検索演習、看護学科1年生の図書館オリエンテーションを担当した。

(2) ネットワークを介した情報提供

電子ジャーナルと医学関連データベースをネットワーク経由で利用できる環境を維持した。データベースに新規データが追加された際に電子メールにて通知するサービス (AutoAlert サービス) を、平成21年度に引き続いて実施している。また、平成21年度に引き続き、新聞4誌から医療関係の記事の見出しを学内に電子メールで配信するサービスも実施した。

(3) 学術リポジトリの構築

学内の学術成果物を電子的に蓄積し、インターネット上に公開する学術リポジトリの運用

- を担当している。東京慈恵会医科大学雑誌、Jikeikai Medical Journal、教育・研究年報、Research Activitiesの内容を最新版に更新し、インターネットで参照できるようにした。
- (4) 『東京慈恵会医科大学教育・研究年報2009（第29号）』および『Research Activities 2009』の編集担当
標記各年報の原稿を大学ネットワーク経由で収集し、編集・出版の作業を担当した。
- (5) 『東京慈恵会医科大学記録VII』の編集担当
学内各部署の協力を得て、平成16年度から20年度までの大学の活動をまとめた標記記録を1月に発行した。
- (6) 医学論文書きかた講習会の開催
Jikeikai Medical Journal編集委員会と東京慈恵会医科大学雑誌編集委員会の共催により、5月12日に大井静雄教授（脳神経外科学講座）「医学英単語の覚えかた・医学英語論文速読のコツ」、5月18日に甲斐正嗣先生（本学平成14年卒 ニューヨーク大学病院胸部心臓外科クリニカルフェロー）「アメリカ臨床研修への道とその実際」、5月20日に岡崎真雄准教授（学術情報センター）「How to Write More Clearly」、5月25日に小原平教授（英語研究室）「優しい英文法」と題する内容についての講習会が開催された（いずれも開催時間は、18時～19時30分）。この講習会は大学院共通カリキュラムの必須科目「医学研究概論」の授業を兼ねている。
- (7) 教材・研究資料の作製支援
学内教職員、学生、同窓生を対象に、静止画及び動画の撮影をはじめ、アナログ・デジタル写真の作製・加工、ポスター作成、ビデオ編集のサービスを行っている。また35mmスライドをデジタルデータ化するサービスも行っており、パワーポイントファイル作成支援をしている。
- (8) レントゲンフィルムの複製
教育・研究用の資料として、他病院への診療情報提供、裁判所等への提出資料として、また病院保管用資料として用いるレントゲンフィルムのコピーを行っている。
- (9) 広報活動支援業務
広報活動支援業務として、学内行事の撮影、および保管している画像データの提供を行っている。
- (10) 情報技術支援業務
学事課・システム課・教育センターの職員との協力による情報技術支援業務（テレビ会議等）を継続担当している。
- (11) リモートアクセスサービスの実施
大学ネットワーク上で利用可能となっている電子ジャーナルおよびデータベースを学外（自宅や派遣先）からアクセスするためのサービスである「リモートアクセスサービス」を平成21年度に引き続き行った。
- (12) 「東京慈恵会医科大学創立130年記念誌編集委員会」への参加
標記記念誌の編集作業、および掲載写真の用意のほか、関連して、10月2日（土）に開催された「東京慈恵会医科大学創立130年・東京慈恵会医科大学同窓会設立85周年合同記念式典」でのパネル展示の作成も担当した。